

平成 19 年 3 月
エネルギー P T 事務局

「エネルギー研究者・技術者の育成・維持」に関する取組（案）

1. 目的

分野別推進戦略の推進方策に記載されている「エネルギー研究者・技術者の育成・維持」に関しては、エネルギー P T メンバーからの事前アンケート結果より、取り組むべき優先度が高かったため、関係機関等へのヒアリング等を通して、エネルギー関連の人材に関する実態・問題点を把握し、今後取り組むべき方向性を明らかにし、本方策に関する提言を行う。

2. 実施方法

民間企業（電力・ガス・石油・メカ等）・大学（電気系、機械系、材料系、化学系等）・公的研究機関・学会等の担当者へのヒアリング結果等を取りまとめ、エネルギー研究者・技術者の育成・維持について検討する。得られた検討結果について、P T メンバーの意見を踏まえて、最終的に提言として取りまとめる。

3. 提言する項目(案)

以下に具体的な項目を列挙する。ただし、ヒアリング等を通じて適宜修正を行っていく。

（人材不足分野の特定）

- ・ 人材の不足感のある研究分野の洗い出し（エネルギー関連産業の将来像、原子力以外での人材問題）

（対策の方向性）

- ・ 人材育成・維持に関する国・企業の役割分担
- ・ 初等・中等教育によるエネルギー技術への関心を誘発する仕組み（理科の実験や教材作成支援等）
- ・ 企業・大学間での人材マッチング（必要な技術の履修、企業人による講義等）
- ・ 企業・大学・公的研究機関の人材交流の促進
- ・ 外国人、女性、中高年人材の活用
- ・ 技術継承のあり方
- ・ 資格制度
- ・ ダブルメジャーの育成
- ・ インターンシップ制度（奨学金等）
- ・ 研究拠点の整備
- ・ 関係府省の取組支援等

以 上